

平成 25 年度事業計画書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

平成 25 年度は、公益財団法人移行の初年度として、法令、定款等の順守（コンプライアンス）、透明性の確保（情報開示）を進め、自己責任に基づく健全で安定的な経営を目指すことにより、広く公益の実現に貢献し、社会からの期待に相応しい事業運営の基礎を確立していく。

事業活動については、引き続き「遊んだり、泳いだりするのに適した河川や湖にする」という目標を掲げ、琵琶湖・淀川流域の水質保全分野を中心とした諸課題の解決に向けた自主研究や研究助成、啓発事業などの事業を実施する。

また、平成 26 年度から 28 年度までの 3 ヶ年における「機構のあり方」についての検討を進める。

1. 水質保全調査研究事業（自主）

(予算額 10,000 千円)

◆ 生活環境保全対策・健康リスク問題に関わる調査研究

公共用水域への流入汚濁負荷の削減のため、発生源や負荷量の実態把握、および有効な対策や取り組み手法等について検討する。また、安全安心を目指した水質保全を進めるにあたり、病原性微生物や微量有害化学物質などの問題は、国内外で新たな動向が見られる等、幅広い対応が求められる。そのため最新の情報収集に努め、助成金や共同研究などを活用しながら学識者とともに流域での実態把握や対応等の検討を実施していくこととする。さらに、水系水質管理のための必要な情報を収集し、とりまとめた情報や成果等の共有を図る。

主な調査・研究実施項目

「有機物を対象とした水質指標の検討」

難分解性を含む有機物質の課題について今後の水質管理のあり方を目指した調査を実施する。

「流域水質管理における面源負荷発生源の調査研究」

琵琶湖・淀川流域の面源負荷汚濁源に関する調査研究やデータ収集を行い、水質対策に向けた検討を行う。

「琵琶湖・淀川流域を捉えた水質データの解析」

琵琶湖・淀川流域の水質データを用い、今後の水質管理計画策定(環境基準点の意味、数など)や対策検討のための補完や補助となる図示化、統合化の検討を行う。

「安全で安心な河川のための水質調査」

環境保全や健康リスクに関わる水質問題について関係機関と共に解決に努める。

2. 水質保全啓発事業

(予算額 2,940 千円)

琵琶湖・淀川流域の水質保全を住民や行政と共に一体となって推進するための広報・啓発事業として「流域の水環境保全のための情報収集・発信」、「流域住民の水質保全活動への普及啓発・連携」を行なう。主な実施項目は下記のとおりである。

(1) 流域の水環境保全のための情報収集・発信

住民から行政まで幅広い層による流域水環境改善のための取組みに資することを目的に、情報の共有化や利活用を推進する学術的情報ツールとして、あるいは、琵琶湖・淀川を身近に感じ、地域の水環境を流域全体として理解してもらうための水環境情報をわかりやすく紹介した冊子等、様々な水環境保全のための情報発信の作成に取り組む。

主な実施項目

「BYQ 水環境レポートの作成」

流域全体の水質データ情報を集積し、他の研究機関や行政機関等に供するための情報誌を発行する。

「琵琶湖・淀川 里の川をめぐる情報誌の作成」

琵琶湖・淀川流域内の河川の水に関する歴史や見所などを紹介する冊子を発行し、主に一般市民の水環境への関心を高めていく。

「研究成果の発表及び情報収集」

水質浄化研究所における調査研究の成果を国内外の学会等で発表することにより、広く成果の共有を図るとともに情報の収集に努める。

(2) 流域住民の水質保全活動への普及啓発・連携

流域住民自らが身近な水環境を考え、水質に興味をもってもらうきっかけづくりを目指した調査や、流域一体となった水質保全対策を推進するための水環境改善に関わる人たちの情報交換や交流の促進に取り組んでいく。

主な実施項目

「WAQU2 調査隊による水質調査」

身近な河川等の水質を流域住民自らが調べることで水環境の関心を高めていく。

「BY スタンプラリーの実施」

市民団体の水環境改善活動への参加や水関連施設の見学を通じて、流域市民の水環境改善活動への参加及び団体間の連帯感の向上を促す。

3. 水質保全活動支援事業

(予算額 8,350 千円)

琵琶湖・淀川流域における水質保全上の先駆的な課題を解決することを目的に、

BYQ が設定する研究テーマに沿った研究に対して助成を行う。

また、平成 26 年度からの実施を目指し、小・中学校向けの助成制度の創設について検討を進める。

◆ 水質保全研究助成

【募集研究分野】

- (1) 水系水質管理のための有機性汚濁指標とその代表性に関する研究
- (2) 琵琶湖・淀川流域の水質・底質中の微量有害汚染物質の挙動把握および分析手法の確立等に関する研究
- (3) 琵琶湖・淀川流域における大腸菌などの病原性微生物の動態把握と削減技術に関する研究